DOSHISHA GLEE CLUB THE 67TH ANNUAL CONCERT

1971

同志社グリークラブ

第67回　定期演奏会

1971. 12. 2　京都会館第1ホール

ご　挨　拶

本日は御多忙中を，私達同志社グリークラブ定期演奏会においで下さいましてありがとうございます。

社会の動きに合せたかの様に，私達のクラブの変動ぶりは，近年特に激しいものがございました。しかしその中で私達は，常に思考し，模索し続ける姿勢を堅持することによって，歌い続けてまいったのでございます。

今日までの道のりも決して平坦なものではありませんでしたが，今日のステージを誇らかに歌い終えることができる様にと努力を続けてまいりました。

どうか私達の最後の歌声が会場から消えるまで，見守って下さいます様お願い致します。

同志社グリークラブ

MESSAGE

同志社グリークラブ顧問代行
同志社大学経済学部助教授
渋　谷　昭　彦

音楽は聴覚に訴える芸術で，芸術と呼ばれるものの中でも極めて抽象の度合が高い。音楽は，また，瞬間の芸術であり，その限りでははかないものである。しかし，音楽はわれわれに安らぎを，喜びを，希望を与えてくれる。

声楽における楽器はわれわれの肉体に備わった咽喉である。肉声をもってするところが他の器楽演奏と異るところであり，それゆえ直接生命の躍動を感じることができる。

合唱は個と全体の調和の問題を如実に教えてくれる。各パートがそれぞれその持味を十分に生かし，しかも全体としてのまとまりがなければよい合唱とはならない。

音楽を肉声により，合唱として表現しうる者は幸いである。その喜びは大きく，得るところははかりしれない。

音楽は，文字どおり，音を楽しむものであり，合唱も各人の楽しみであって，苦しみであってはならない。しかし，より大きい楽しみを得るためにはより高度の技術が必要であり，その技術の習得には訓練という苦痛が伴う。日頃のきびしい練習の苦しみをのりこえてこそ，さらに大きな喜びを経験することができる。

また，合唱は，本来，人に聞かせようとしてするものではない。したがって，演奏会の合唱は邪道かもしれない。しかし，一年間の苦労の末の，ひとり占めにするにはあまりにも大きいこの喜び，この楽しみを一人でも多くの人々とともに味わおうというのがこの演奏会である。これはさらに大きな喜びであり，このことがまた励みとなるのである。

第67回定期演奏会の開催を喜ぶと同時に，この演奏会がともに喜びを分ち，楽しむことのできるものであることを願ってやみません。

同志社グリークラブ幹事長
横　尾　　修

何かの行動の決起を決意し，自ら行動しても，次々と仮面を剥がされ，あらわな姿態をむきだす。問題意識の拡散により，何が真の創造行為かわからなくなってしまいます。

“この世に美なるものは存在するのだろうか。永遠の微笑，神聖なる芸術の光といった言葉が自己の中で，ただ言語として観念化されているのではなく，恒常的に，感性の世界の中で意思の実体として感得されうるものであろうか”と……。

この世は暗闇の世界。生きんがために働きまわる。自己の生存のために！
闇は更に深遠となり，動きようのない暗鬱な世界へ引きずりこまれる。

合唱が各部員の共同意志を媒介とすれば，その総体の中から生れた，日常とかけ離れた，音が一瞬であれ，全員の中にある共通の共鳴として同時におきた時に，真に音楽芸術の発生を見るのです。それは束の間の灯ではありますが，暗闇の世界に一条の光をもたらすのです。

今回の定期演奏会も，“生きる”事に対する一つの挑戦であります。いや人間に対する挑戦かもしれません。

楽譜を通しての小さな小さな窓から，深渕な世界へ光を投じる事は並大抵ではありません。何処まで投じ得るか。それはステージが終ってみなければわかりません。

又，我々の“生きている”体臭が，芳香として，それはバラの甘味かもしれませんが，暗闇の世界で，ふと鼻をかすめるような事があれば，これにこしたことはありません。

PROGRAM

Doshisha College Song

I　雪明りの路

指揮　目　　秀　雄
作詩　伊　藤　　整
作曲　多　田　武　彦

II　黒人霊歌集より

指揮　福永陽一郎
編曲　福永陽一郎 他

This ol' hammer

Nobody knows de trouble I see

Jesus had a mother like mine

Listen to the Lambs

Soon a will be done

Intermission

PROGRAM

Ⅲ 走れわが心

— 男声合唱とピアノによる蒸気機関車への讃歌 —

指揮　福永陽一郎
ピアノ伴奏　笠原　進
作詩　伊藤海彦
作曲　大中　恩

Ⅳ 聖チェチリアのための荘厳ミサ

指揮　宇宿允人
ヴィエール室内合奏団
作曲　C．グノー

Kyrie

Gloria

Offertory

Credo

曲　目　解　説

男声合唱組曲　雪明りの路

目　　秀　雄

「雪明りの路」は，北海道小樽に郷里を持つ伊藤整が，そこに詩の背景を求めて書き，「雪明りをよく知り永久に其処を辿るあの人々……」に捧げられた詩集である。

この詩が表現しようとしている眼目は，多々考えられるが，第一に，北海道の自然の雄大な事，そして，そこにくり広げられる人間社会の素朴で自由な空気を表現し，その間での，本来の意味としての人間と自然の結びついた（現代社会からは，忘れ去られているテーマと思う）ドラマと抒情の美しさにある。

多田武彦は，それに，メロディーを彼独特のユニークさでつける事により，男声合唱曲に仕上げている。組曲の１番や３番は，多田節の独壇場といった感があり，終曲では，彼の新しい作風を感じさせます。

曲の内容においては，詩情豊かな自然描写や，素朴で，豊かな人間感情を歌う様な所では，男声合唱でも透明で，みずみずしい音色と語りかける技術を必要とする部分と，男声合唱の持つ，声の量感，身体を充分使うことにより，ドラマチックな，激しい躍動を歌うものがある。

構成としては，全曲を貫く一貫した主張がないだけに，ドラマ的要素と，抒情的なものの融合がこの合唱曲の場合，大きな難問となっている。

Ⅰ．春を待つ

ふんわりと雪の積った山かげから
冬空がきれいに晴れ渡っている

うっすら寒く日が暖かい
日向ぼっこするまつ毛の先に
ぽっと春の日の夢が咲く

しみじみと日の暖かさは身にしむけれど
ま白い雪の山越えて
春の来るのはまだ遠い

Ⅱ．梅ちゃん

梅ちゃんの家が焼けた
ぼくと遊んだ頃の
婆さんは死に
爺さんひとりいる藁家で
春の雪どけの晩
爺さんが酒をのんで火をだした
火を吹いて吹いて
あの藁家が崩れた
春になって草がまっ蒼にのびた頃にも
焼あとには黒い掘立杭が立っていた
ぼくが十八の春
梅ちゃんは小樽のげいしゃ
あの藁家は燃えちまったよ

Ⅲ．月夜を歩く

泣きやんだあとのように
月が白い輪をもった夜　更けて
私は
ひとり忍路の街を通りぬける
切通しをのぼりきれば
海の見える　さびれた家並がある
海は湾の内に死んで
灰色の背を見せ
家々は寝しずまっている
そとに夜どおし立っている桐の木の花が
甘く鋭く匂っている
私はいくつもいくつも
塩風で白くなった板戸の前をすぎて
わるいことをするように
下駄の音をしのばせてそこを通りぬけた
あゝ何のための
遠い夜道だったろう
いたどりの多い忍路から出る坂路で
誰も知るまいと
私は白い月を顔にあびて微笑んでみたのだ

Ⅳ．白い障子

風がひと吹きすぎさると
ざあっと
豆を撒いたように雨が屋根をたたく
すすで赤くなった室には
障子が立てられ
みんなは暖かい夕食の箸をとる
秋が来たので
白い障子の立てられた中で

Ⅴ．夜まわり

夜まわり　夜まわり
毎晩月夜に歩きまわるので
爺さんの目は赤くただれてしまった
からん　からん
人はふかく寝込み
夜はたいへん更けて
悩ましい夢が巷にただよっている
家の角は白くけぶって
人の知らない月影がある
黒い装束に顔の大きな
爺さんの目は赤くただれておった

Ⅵ．雪　　夜

あゝ　雪のあらしだ
家々はその中に盲目になり身を伏せて
埋もれている
この恐ろしい夜でも
そっと窓の雪を叩いて外を覗いてごらん
あの吹雪が
木々に唸って狂って
一しきり去った後を
気づかれないように覗いてごらん
雪明りだよ
案外明るくて
もう道なんか無くなっているが
しずかな青い雪明りだよ

曲　目　解　説

黒人霊歌をとりあげるにあたって

福永陽一郎

黒人霊歌が日本の合唱団の愛好されるレパートリーになってから久しい。そのための専門合唱団さえ存在し得たロシア・ソヴィエート歌曲を別とすれば，これくらい広い範囲にわたって長く持続してうたわれた外国民謡はほかに無い。その魅力について，あらゆる意味で共通性のない日本人をとらえている，アメリカ黒人の民族歌曲のことを説明することは簡単ではない。日本民謡を正しくうたうことができる外国人を想像することが不可能であることを考えると，黒人霊歌をあい手に，その正しい表出をすることに近づこうとする努力が無駄なものであることは，容易に了解することができよう。黒人霊歌の本質に迫ろうということは，いままでも色々言われてきたけれどもそういうペダンティックな労力はむしろナンセンスのそしりをまぬがれ得ない。

黒人霊歌をうたうということは，何よりもまず，歌をうたう喜びというものを直接的に享受することでなければならない。人間の根源的な楽しみに直結しているからこそ，この異民族の歌がわれわれの血液を湧きたたせるのである。この場合，他の芸術音楽に触れるときのような，本質をきわめようとする欲求は，内面的なものに深く立ち入るのではなく，外面にあらわれているものを，自己の本能の一部としてとらえることに向けられるべきである。このことだって，決して平易ではない。むしろ，ひとが，いつも失敗するのは，黒人の歎きに共感するという本質的なことにではなくて，黒人の音楽の躍動と粘着を感覚的に自分のものにするという点においてなのである。

私――福永――は，この国にあっては，合唱という手段による黒人霊歌演奏のスペシャリストと言われている。事実，私は，他の人の指揮する黒人霊歌の演奏には我慢できなくて，いつもいら立ちを感じる。とは言うものの，近来，私は，みずから好んでこの種の音楽をやろうと，あまり思わない。それが，あまりにも遠くにあるものだと，深刻に知らされているからである。それなのに，いま，あえてタクトをとるのは，同志社グリークラブに，もう一度，プリミティブな「うたう喜び」を知ってほしいからであり，また，喜んでうたっている声を聞くのは，いかに楽しいことかと，多くの人にわかっていただきたいからでもある。こうしたやりかたは，あまり繰り返したくないと思っている。

曲目解説

This ol' hammer

アメリカの鉄道建設の労力として酷使された黒人奴隷は，労働歌として，五音音階の中の四音をとりだして繰りかえす単純なパターンを，二種類つくり出した。この二種類の基本的なパターンは，歌詞の如何にかかわらず，つねに用いられている。そのひとつは「Dere ain't no hammer」という歌詞をともなうもので，もうひとつは，ここでうたわれる「Dis ol' hammer」。パターンとしての基本であるから，このかけ声をともなった歌の種類が，歌詞の内容として非常な数にのぼることは言うまでもない。今夜使用される編曲に採られた歌詞は，多種のうちの任意の一端で，完結した構成を持つものではない。

No body knows bat trouble

黒人たちがこの歌詞でうたっていたのは，現在のフシではない。黒人霊歌の採譜者として，また実用譜の作成者として大きな功績のあった Burleigh が，ほとんど作曲のようにして整理をつけたのが現行の歌曲で，リズムパターンをのぞいては，原型を大きくはみ出した芸術的な仕上げがほどこされている。「Deep river」などとともに，早くから著名になった黒人霊歌には，この種の粉飾改変が多い。

Jesus had a mother

いちオクターヴ内を往復する五音音階の典型的なパターンで，黒人音楽の施法をいちばん良く保っている歌曲である。この五音がオクターヴ内で増加するとブルノートと呼ばれる音程を派生することは広く知られている。黒人の本来のメロディは，オクターヴ内にとどまるものであり，そとへはみ出すときには，上向きでなく必ず下方へ一音だけのびる。

なお，この編曲では，別個の，しかし，やはり同一音型の歌が，終始一貫した楽式上の完結を得るために利用されている。そのため多彩な外面を持っているかに聞えるが，実は今夜の五曲の中で，もっとも単純な音源が使用されているだけである。かぎられた音の利用が「うたう喜び」に直接に奉仕した場合，いかに大きな表現の振幅を持つかの，またとない例となっている。

Listen to de Lumbs

今夜の曲目のすべてが，演奏会用の華麗な効果を持つための編曲であることは言うまでもないが，この Listen to de Lumbs のように，本来は稚拙なメロディの端切れでしかないものを，壮大な空間を連想させるかたちにまで拡大編成されたことは，かつて無かったのではないか。この曲は，歌詞においても，音楽の発想においても，あきらかに知ることができる原歌を持っているために，しばしば黒人霊歌の一曲として扱われるが，本当は N. Dett によって作曲された一編の優秀な合唱曲である。そうして，当然のことでもあるが，黒人音楽の民族臭はこの曲のなかには無い。これは完成された芸術歌曲であり，一個の秀抜な演奏会用のピースである。したがって，ここでこの曲が登場するのは，合唱音楽会としての純粋な感興のためであって，黒人音楽の一例としてではない。

Soon-a will be done

Soon-a の (n)-a は I のなまりと解釈すべきである。私はやがて終らされる――死ぬ，という意味である。黒人霊歌としては，もっとも音域が広く，もっともはげしい音の動きを持つ音楽である。それだけに，編曲はむしろ簡潔に拡大作業は極度におさえられている。中間のハレルヤの部分は創作であり，黒人音楽との関連からはみ出している。

この曲が日本に紹介されたのは，現在リンカーン・センターで世界大学合唱祭の副監督をしているレナード・デ・ポア氏が合唱団を連れて来日した時で，この曲で聴衆を異常なまでに興奮させた。以来，ひとつのステージの最終曲として，プログラム編成上の主役をしばしば演じている。今夜使用される編曲は，そのデ・ポア氏の来日の直後に書かれ発表されたもので，日本人の手による初の本格的黒人霊歌であった。

曲　目　解　説

「走れわが心」について

福永洋一郎

男声合唱とピアノによる『蒸気機関車への讃歌』という副題がついているこの演奏22分ほどの曲は，近来のＳＬブームとはほど遠く，作詩者や作曲者，そして今夜の指揮者のような戦中世代にとっては，決して単純な讃歌ではなく，むしろノスタルジーを呼びさます素材である。うたう学生の世代のほうが，むしろ，かつて存在したあこがれの象徴とか，それが姿を消してゆくことへの愛惜，さらには失われた青春に対する甘ずっぱい感傷などというものにとらわれず，今なお，場所さえ求めてゆけば眼前にすることができるＳＬに対して，直接的な讃嘆の念を抱くことがあるのではないか。こうした事情のもとに，この合唱曲をとりあげることには，ストレートでない感情のゆれがはたらくものと思われる。

大中恩という，合唱音楽の多作家にあって，男声合唱曲は決して多くはない。しかも，その小数の作品のうち，あるものは男声合唱の機能を充分に使いこなしていないし，あるものは決定的な失敗作であった。くりかえしてうたうに足るものは，同志社グリークラブの創立60周年にあたっての依嘱作品である「わが歳月」と，この「走れ，わが心」のわずか２曲である。そしてそのうち，前者は，とりあつかわれている詩が，かなりな分量で象徴的であり，感覚的にも老成したものが要求されるという点で，また後者は，内容に対する共感が，世代を限定するという点において，大学合唱団のレパートリーとはなり難い要素を持っているようである。それは，混声合唱曲では自由な広い世界は羽ばたき，女声合唱曲では客観的な視野を持つことができる作曲者，大中恩が，男声合唱曲では，自己表出の世界からそとへ踏み出さないということに原因がある。男声合唱曲では，大中恩は自己を語るだけ，自分をうたうだけである。そうした作品に，そと側からアプローチを持つのは，たいそう困難である。

しかし，「走れ，わが心」は，まぎれもなく「男の歌」であって，それをうたう個々は，それぞれの体験とそれぞれの感情から，この詩とこの曲を自分のなかにとり入れ，加熱することが可能である。現実の歌詩と音楽のリズム型は，まぎれもなくＳＬの世界を表出したものだけれども，ひとは，そうした描写の筆先を越えて，自分なりの「わが歌」をうたいあげることが可能である。こうした接触のしかたをするかぎりにおいて，作曲者の閉じられた世界は，万人の共通物になるのである。これは，言いかえれば，『終ることない旅のための頌歌』となって，若い青年のものとなり，若い老年の歌ともなり，その声はいたるところにいつまでも満ちるはずのものである。

走れ　わが心

作詩　伊藤海彦

私はめざめる
暗い夜の眠りから
私はめざめる
重い鉄の眠りから
すみれ色，東の空の裂けるとき

私は生まれる
朝ごとに　あたらしく
私は生まれる
ひとすじの　旅のため
水と火が　鉄の心にみちるとき

私のなかで
燃える言葉　燃える願い
私のなかで
燃える夢　燃える祈り
燃えて　燃えて　あゝ
私にあふれる　ひとつの声

陽の光　はじける野づら
咲きつづく　菜の花の
まぶしい野づら
ゆるやかにひろがる空の
やわらかな青いほほえみ

走る　走る　走る
野を走る　私は歌
汽笛ひびかせ　雲をつくり
とき放たれた　私はけもの
走るための　この一日を
走ることで　私は生きる

陽の光　きらめく川面
たちならぶ　あざやかな
小枝のみどり
よびかわす小鳥の声に
やわらかに煙る野のはて

走る　走る　走る
野を走る　私は鞭
わだちひびかせ　影をつくり
風ふきわける　私は礫
走るための　このひとときを
走ることで　私は生きる

曲　目　解　説

濡れる岬をまわるとき
私は波にあやされる
よみがえる日よ　遠い昔
波音に　まぎれ　まぎれ
私は低く　私を歌う

渚をつたって走るとき
私の夢は　熟れてゆく
潮のかおりにかもされて
浜風に　吹かれ　吹かれ
私はひとり　私を歌う

……午下り　いつか私も波になる
　　くりかえし　くりかえし
　　ひとつのふしに酔いながら
　　季節をふちどる　波になる

おう　おう　おうう
つのる風よ　私をためせ

線路は凍え　雪に埋れ
そそりたつこの黒きもの
あえぐ汽罐　きしる動輪
　　あゝ　苦しみは曳いてのぼれ

夜をふかく　雪にまみれ
ドラフトのひびきもたかく
裂けよ胸　燃えろ胸
　　あゝ　苦しみは曳いてのぼれ

おう　おう　おうう
線路は凍え　雪に埋れ
叫び　ざわめき　立ち上る
枯れ枯れの　梢の切尖

……行かねばならぬ
　　行かねばならぬ
雪と風　めしいた夜を
ただひとずじに　行かねばならぬ
私が私であるために

風よ吹け　雪よ刺せ
つのれ　つのれ　私をためせ
おう　おう　おうう

私はかえる
暮れのこる空の下
灯ともしの町にむかって

鉄橋のものういひびき
炭水車に疲れをにない
私はかえる

あゝ　やがて私はかえる
冷えてゆく鉄の沈黙
ひっそりと重い　ひとつの物に
　　……そして　いつか　私は死ぬ

けれども私は　もういちど
かえってくる　かえってくる
汽笛を鳴らし　蒸気を噴き
私をみつめる眼のなかに
たえず生まれる　思い出のなかに
終ることない　旅のために……

高級紅喫茶

ケルン

銀閣寺電停前　　A.M 10:00 ～ P.M 12:00
TEL 761—4570

2F　麻雀フロアー
A.M 11:00 ～ P.M 11:00

3.4F　ビリヤードフロアー
A.M 10:00 ～ A.M 12:00

曲　目　解　説

Messe Solennelle de Sainte Cecile

Charles Gounod（1818〜1893）は，フランスオペラ史上の不朽の名作「ファウスト」によって広く世に知られているが，宗教的作品にも，数多くの名曲を残している。そのミサ曲は18曲にも及ぶが，中でも著名なのは1855年の「聖チェチリアのための荘厳ミサ」と1852〜1860年の間に作曲された「第２男声ミサ」であろう。題名の St. Cecilia は，音楽の守護神で，ローマ殉教者の聖女の中では，もっとも有名な一人である。彼女が潔白の徳に殉教の冠をあわせいただいたのは三世紀末のことで，殉教の日は９月16日とされているが，古くからローマのテベレ川の西岸にあるこの聖女の家の上に建てられた聖堂奉献の日の11月22日が祝日とされている。このミサ曲はこうした背景のもとに生れたミサで，聖霊降臨祭の日曜日と万霊節の日曜日に奏される習慣となっている。

グノーの音楽はシューケ G. Chouquet の言葉をかりるなら「Voluptuousness（官能）と Mysticism（神秘）」という二元的な性向の融合によって実現されたものであり，劇音楽と宗教音楽とは，その二つの異なった結実に他ならなかったように思われる。（宗教的信仰と劇的抒情性が，彼の本質にある，二つのテッセンスであるという意味において）このミサ曲においても，単なる形式的な教会音楽の域をこえた，いわば「劇的宗教的音楽 dramatic-religions music」ともいうべき性格で，グノー自らこれを「フレスコ画のスタイルによる音楽」とよんでいるのは興味深い。ともあれここに，グノーの最も純粋な刻印があり，19世紀中葉のフランス音楽の最も真摯な一ページを見いだすことは少しも困難ではない。このミサ曲では，従来の教会音楽の習慣に反して，対位法的な手法がほとんど見られず，華麗で透明なホモフォニーによって一貫している点も留意すべきであろう。

なお，この曲は本来混声合唱のミサ曲であるが，有名な男声合唱のミサ曲と言えば A, Duhaupas の「荘厳ミサ」か C. Gounod「第２男声ミサ」ぐらいのものであって，男声合唱のミサ曲のレパートリーを拡げようという意図から，福永陽一郎が男声合唱曲として編曲したものである。

ミサ通常文は Kyrie, Gloria, Credo, Sanctius, Benedictus, Agnus Dei で構成されている。

Kyrie　主なる神とキリストに憐れみを乞う祈り

Gloria　三位一体の神を讃美しており，キリスト降誕のとき天使の唱う詞いと高きところでは神に栄光があるように，地の上では御心にかなう人々に平和があるように（ルカ伝２章13節）より歌い始められている。

Credo　神と，人の救いに関する事を全て信ずると告白するのがこの部分の内容で「使徒信経」最初のユニゾンにより唯一の神を信ぜる事が厳かに歌われ，曲が始まる。

全国殆んどの各地に配達する　酒有連加盟店

アサヒビール　和洋酒類

株式会社　小田佐商店

京都市中京区木屋町通三条下ル

TEL (221) 0074

プロフィール

福永陽一郎

1926年　神戸に生れる。東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身，1951年藤原歌劇団に入団，ピアニスト，副指揮者，合唱指揮者として経験を積む。1956年～65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍，同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ，カナダの主要都市での公演を指揮した。1959年，61年，63年，67年イタリア・オペラ来日公演には副指揮者，合唱指揮者として参加。歌劇指揮者として，レパートリーは50数種のオペラを持ち，日本屈指のベテランである。

ＮＨＫ－ＴＶでは，「楽しいコーラス」「音楽をどうぞ」「音楽は世界をめぐる」のレギュラー指揮者をつとめ，他に「芸術劇場」「夢のセレナーデ」にも登場している。

合唱音楽に関して経験が深く，合唱界の第一人者の一人である。1952年，畑中良輔氏と共に，東京コラリアーズを創立，日本最高のプロ男声合唱団に育てた。アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も過去二十年間，断絶することなく持続され，客演指揮，合唱講習会の講師，コンクールの審査員として，全日本的に活躍。又，合唱用の編曲作品は数百曲に及ぶ。

明日の日のために

福永陽一郎

同志社グリークラブと知りあって，二十年になろうとしています。まるでお互いの年が違わなかった頃から，自分の子供と同い年の学生がいるということになるまでの二十年間で，それはいろいろの事がありました。

けれども，いま，わたくしは，ひとつの新しい時期のはじまりとして舞台に立とうとしております。いままでのことは，とくにあやまちは，再びくりかえすことが無いための教訓として忘れられていけないことは勿論ですが，いたずらに過去にとらわれることなく，明日の日のために眼をこらしたいと思います。それは，ただ同志社グリークラブだけではなく，日本の合唱運動そのものが，ひとつの時代に終りを告げ，次の時代へむかって動きはじめていると知るからです。

合唱運動は，かくべつ学生の合唱運動は，いく度かのブームのときを過ぎて，小さな，しかし今度こそは本物の歩みを進めようとしているかに見受けられます。わたくしは，かつてのように煽動家のようにではなく，賢明なる案内人でありたいと念願する年ごろになりました。いままでも，アマチュアの音楽活動の中での専門家の役割についてのモデルケースをつくりたいとは思っておりましたが，今，あたらしく同志社グリークラブとのリレイションシップを創りだそうとするに当って，必ずしも隆盛の頂点に立っているとは言いがたい今日の学生合唱にあって，決意を，まったく新しく深くしているものであります。

さいわい今夕は，団員諸君の万全の共感の上に立っております。行く先のために，明るいかがり火の燃える一夜でありたいと願うことしきりです。

慶弔花・稽古花・花束・ブケー・コサージ・生花一式

花　フ　ジ

京都市上京区今出川通寺町西入
ＴＥＬ 京都 231－0870

宇宿允人

昭和32年，東京芸術大学器楽科卒業，ただちに近衛管弦楽団に首席トロンボーン奏者として入団。翌33年ＮＨＫ交響楽団に入団。首席トロンボーン奏者として43年まで活躍。その間近衛秀麿氏に師事，指揮法を学ぶ。Ｎ響及びＡＢＣ交響楽団特別演奏会ならびに労音主催のベートーベン第９，その他数多くの指揮を行なう。昭和43年１月渡米ニューヨーク・フィルでバーンスタイン他，多くの音楽家と交流を持ち，研修の後帰国。同時に大阪フィルハーモニーの指揮者に就任した。昨年10月大阪フィルハーモニー定期演奏会のベートーベン・ミサ・ソレムニスの指揮に対して，大阪文化祭賞を受賞。

目（さかし）　秀雄

昭和24年４月，大阪は西成に生れる。どういうわけか，同志社グリー第41代学生指揮者になる。昭和45年５月のスプリングコンサート。46年５月京都三大学交歓演奏会。夏季九州演奏旅行の各ステージを経て今日に至る。某女子大，某女性とうまくやっているという噂があるが，真相や如何に。

プロフィール

ヴィエール室内オーケストラ

昨年の夏，弦楽アンサンブルを通じて音楽を勉強したいという志しを持ったものが集まり，指揮者に宇宿允人氏を迎えて発足，その後幾度かの合宿を持つ等，アンサンブルの強化につとめる。昨年12月の大阪クラブでの演奏をはじめ，1月，3月には大阪で，又5月には東京，10月には京都にて定期演奏会を開く。他方，ヤマハ及び三木楽器店にてサロン音楽会をひらき，室内楽の分野でのユニークな活動をひろめている。

笠原　進

昭和39年　大阪学芸大学専攻科卒業
昭和41年　Northwestern University school of music 大学院留学
昭和43年　master of music を得て卒業
昭和44年9月　大阪にて初リサイタル　現在同志社女子大学講師

大久保昭男（ヴォイストレーナー）

昭和28年東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。矢田部勁吉氏に師事。近衛秀麿指揮，青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筰指揮，オペラ「黒船」，ドヴォルザークのオペラ「ルサンカ」等にも出演。昭和34年にドイツ・リート，日本歌曲によって，第一回リサイタルを開く。現在，演奏に，大学合唱の発声指導に広く活躍され，東西四大学合唱演奏会では，そのうち三校が先生の発声を習っている。

大久保昭男

今年の夏の合宿は何年ぶりかで野尻湖ハウスに戻って本格的に行なわれた。多分，今の四年生が新しく入って来ての初めての合宿で，フレッシュと呼ばれていた様に思う。

その間，本当に数多くの困難なことにぶつかりながらも，今夜この様に立派に定期演奏会が開かれることに，心からおめでとうと申し上げたい。

何事も同じだろうが，学業の一部，あるいはそれ以上の強い情熱を常々心に持ち続け，唯一つ，「本ものの高い音楽をする」という，ある一つの仕事を四年間やり通すということは非常に大変なことであり，また大きな努力なくしては決して出来るものではない。

何か一つのいいものを作ろうとする時，必ず苦しみがその蔭にあり，それがより以上のいいものであればある程，そのための苦しみもより大きいものである。

世の中には沢山の色々の人がいて，その表面的なものに何の考えもなくすぐにとびつく。

しかし，それに必要な苦しみがあることがわかると，さっさと他のことに移ってゆく。それもよかろう。だが，その様な人間は一生からまわりをしつづけ，それに疲れた時はもうおそいのである。やはり人間には心の深さがほしい。

音楽には沢山の種類があるが，そのすべては心にある。楽器によって心を表現し，声によって心を表現する。声楽というものは，その人の心の声であり，合唱音楽は何十人もの人の心が一つとなって表現されなければならないむつかしさがある。

この一年間，グリーメンは音楽を作るための貴い苦しみを味わって来たが，これからも勇気をもって苦しみにうち勝って進んでいってほしいと願っている。その苦しみが，やがては不思議な音楽の力によって，計り知れない大きな歓びとなって必ず返って来て，心の奥深くに美しく輝くことと信じている。

MEMBER

名誉顧問	片桐　哲	外政	島橋宗久	文連常任	端慶村啓一
顧問	遠藤　彰	外政サブ	大崎保則	指揮者	目　秀雄
技術顧問	福永陽一郎	ステージ	平井雅則	副指揮者	富岡　健
ヴォイス・トレーナー	大久保昭男	ステージサブ	橋本晴海	パートリーダー	
		庶務	緒方盛久	トップ	中辻　隆
幹事長	横尾　修	会計	木村雄二郎	セカンド	坂倉正信
内政	木村行夫	会計サブ	中川嘉一	バリトン	幸田幹雄
外政	鳩　秀成	演奏旅行	吉田重春	ベース	永田　裕

Top Tenor

田　窪　　徹（商4　今治西高）
4年間の努力と情熱が，火となり炎となって燃え上る時が来た。今宵こそ……。

高　橋　　博（経4　彦根東高）
気になるクラブの気になる男。洗練されたセンスと豊かなサムシングを秘めた男。貴女信じる？　信じてネ。

鹿　毛　格　男（法4　三池高）
歌う心勝りして　恋を忘れし君なれば　グリーの練習厳しき事　いと恨めしく思われて　あゝ　君　歌うことなかれ　―女性哀詩―

中　辻　　隆（経3　彦根東高）
俺も20才。もう恋人がいてもいいんだが……。「否，ちゃんといるんてす。いつも俺と一緒。俺は彼女が好きだし，あいつも俺が好きだ」「一体誰だい？」「何のことはない楽譜（歌）ですよ！」

吉　田　重　春（商3　桜台高）
走れ走れ，野を走れ，私は鞭　わだち響かせ影を創り，風吹き分けよ　私は礫，走る為のこの一時を，走る事で私は生きる。若き血燃ゆる22才の私。

萩　巣　潤　三（経2　寝屋川高）
寂しがり屋の秋が去り，ひとりぼっちの冬が来ると，心のすみっこは落葉の吹きだまりになる。そんなあなたの心の小部屋が暖まるような歌を歌いたいな。

橋　本　晴　海（工2　明石高）
歌。それは　俺の心。何をも忘れさせる空間。グリー。それは　俺の青春の炎。すべてを焼き焦す烈火。そんな歌，そんなグリーが，俺は好き。

松　村　俊　明（法1　洛東高）
グリーに入って気がついたこと。それは正しい発声というものがいかに大切であるかということ。そしてそれがいかに難しいかということ。

江　上　知　剛（法1　熊本高）
夏の演奏旅行は地元でモテモテ。先輩連中をうらやましがらせた。現在ノドを痛めて休養中。これも発声が悪いためか。

大　畠　　功（法1　同志社香里高）
陰険4年，いちびり3年，不能は2年，幼稚な1年，これが「同志社グリー」なのか！　今となっては，俺でもっとるようなものだ。“なあ　サカン”

能　川　弘　文（法1　金沢泉ケ丘高）
グリー1番のいい男。兼六園の池でいつも顔を洗ったからです。

吉　川　　博（文1　茨木高）
小さな体に闘志は満々。明日のグリーは，僕が作ります。

Second Tenor

目　　秀　雄（経4　同志社香里高）
音楽とは不思議なものです。あの，時たま姿を現わす虹の様に人と人の間に存在します。その突如として表われるものが全てを動かす時，何か満たされたものを僕は得るのです。

木　戸　敏　博（法4　同志社香里高）
海の中に沈みつつある僕の汚物を捨うために，海に潜ろうとしている今。空のきのこ雲は真赤な夕陽に輝いている。

MEMBER

島　橋　宗　久（商３　神戸高）
どう言ったらいいのだろう。彼女は美しかった。彼女は毎日僕に逢いに来ては僕を求めた。そして何かを得させようとした。はや三年が過ぎようとしている。

平　井　雅　則（文３　東住吉高）
ヒッピー『機械文明よサラバ。我々の地球征服は成功したのだ。』――数年後――ある星の住人の話『地球を征服したヒッピーとやら全員ＬＳＤ中毒で死んだって。』

坂　倉　正　信（商３　浜松南高）
まあ，皆さんボクの話を聞いて下さい！　嘘もつかねば，お世辞も言わず，初な私は遠州浜松の産，今宵は頑張ります。

吉　岡　信　幸（経３　山崎高）
勉強が好きなばっかりに……。

富　岡　　健（法２　同志社香里高）
朝の味噌汁を八千草薫に作らせ，秘書の山本陽子に鞄を持たせ，Ｓ８の助手席に南沙織を乗せ，岸田今日子と詩を語り，夕食後のブランディーを越路吹雪と共にし，そして夜栗原小巻と……。ある秋の夜の夢。

金　子　悦　文（法２　同志社香里高）
きのうはTop，今日はSec，あしたは，どこで歌うやら，止めてくれるな○○チャン，一度入った道ならば行かねばならぬどこまでも。

山　田　邦　夫（経１　亀岡高）
私は，鏡のない世界に憧れる。あまりに多き鏡のため，全ての少女らの微笑は不純となり，純粋な情緒は無きが如くとなりにけり。私は，鏡に汚されてない表情に嫉妬を覚ゆ。

瑞慶村　啓　一（経１　深沢高）
本日はわざわざ我々一回生のためにだけ，ご来場下さいまして有難うご座居ました。今夜の演奏会は全く将来のグリートーンのにない手，清澄可憐な一回生中心にお送りいたしましょう。

大　崎　保　則（商１　伊勢高）
イエアオウオアエイ。サ～～～イ。ミ　ミ。アオウエイエアオウ。マァマァマァ……。サ～イ　セ～イ。赤ちゃん語じゃありません。グリーの発声練習の色々。

Bariton

竹本三千雄（法４　高津高）
爾来　全国美女多々来々　吾人破顔一笑　喜々快哉　自己中心的天地大回転　華麗舞踊子有我掌中　浅草大人　怒大爆烈　陳謝々々役満払

鳩　　秀　成（商３　兵庫高）
セーラー服を見ると発情します。お嬢さん，近寄らないで下さい。

横　尾　　修（法３　泉陽高）
俺はお前を殺したい！絞め殺したい。お前は何故，俺の前に現われたのだ。偶然の出会いとは言え，あまりにも残酷ではないか。でもお前が死ねば，生きて行けない俺！　お前は一体誰だ！

幸　田　幹　雄（商３　東筑高）
この世に生れて21年，高校まで未経験だったひとりの男が大学に入って経験した。それは女とのアレではなくグリーの美しいハーモニーをなのだ。

木村雄二郎（法３　今宮高）
わたくし，生まれも，育ちも大阪，住吉です。住吉大社で産湯を使い，姓は木村，名は雄二郎。人呼んで男前の雄さんと発します。いごよろしくお頼み申します。（特に女性の方）

仲　本　　豊（工３　住吉高）
青春とは屈辱と模索への闘争。最早後もどりは許されぬ明日への船出。ドラが鳴り渡り，今静かに岸壁を離れた。今日そして明日を，僕と君のためにBon Voyage！

緒　方　盛　久（法３　豊津高）
入院，手術。グリーを離れ，一個の人間としての苦しみを味わった中で新しく得たグリーとのつながり。そのことのために生き，唱っている私です。

藤　掛　富　夫（法２　瑞陵高）
スリオティスとコッソットのおばちゃんの二重唱，素晴しかったなあ。おばちゃんと言えばクラウスも来たっけ。ケンプのじいちゃんまた来ないかなあ。

亀　島　久　和（経２　同志社香里高）
大阪の南の端からグリーに通って２年。いよいよソリストの番が回って来そうです。

松　井　泰　彦（文１　膳所高）
思えばこの４月，永田さんに会うことがなかったら，僕は舞台に立てなかったろう。初の大演奏会だ。聞いてくれるあの子のためにもがんばらなくっちゃ。

小　糸　　徹（商１　広大附福山高）
昭和26年５月　福山に生れる。46年４月，同志社グリーに入部。バリトンを歌い，音楽界に細々とデビュー。長身から絞り出す声は聞くに耐えられない。

平　瀬　芳　雄（経１　山崎高）
恰好の良さでグリー１番。歌のうまさで……。

MEMBER

菅　あおい（法1　秋田高）
はるばる秋田から，グリーに入るためにやって来ました。いえ，本当は，秋田おばこと京美人のどちらが美しいかを見に来たのです。その結果は……。

東川　憲和（商1　同志社香里高）
プログラムに載せるため，何か書くようにということですが，別に書くことがありません。

Bass

片岡　功（経4　舟入高）
グリーの水に浸りて4年，育ちの良さ故身を崩し，抜けに抜けられぬこの姿。ああいと憂し，いと嬉し。

石井　保明（商4　児島高）
女がいればいるで悩み，いなければいないでさみしがる。歌い出すといやになり，歌はずにいると歌いたくなる。わしゃあそんな男よ。

前田　憲一（文4　同志社香里高）
雪解け路。初夏の日ざしの中の遊動円木。街路樹の散ったあとの歩道。鉛色の空の下の初冬。私の四季の祭典を飾るこの幾多の曲に思いを秘めつ今宵を送る。

斎藤多津之（法4　同志社香里高）
君諱多律之　字熊人　斎藤姓　君少気高　好読書　務出於奇以人同俗為主　年十八入大学門　日余為季園弟子　以四年　君何如。

岸山　信雄（工4　都城泉ケ丘高）
珉々にて，「ジンギスカンノ，モヤシイタメノ，ギョーザ2」。これが最高に楽しいメニュー。そして時にはビールも1本。

永田　裕（文3　洛東高）
秋の夜汽車に揺られて，どこか知らない街に出かけて行きたい。でもこんなに忙しくっては……そんな僕です。

木村　行夫（文3　尼崎東高）
花嫁募集！　僕のお嫁さんになって下さる方求めます。年令　16才～35才（但し女性に限る）容貌，家柄，財産，学歴不問　パート，アルバイト不可　委細面談。

中村　徹夫（法2　豊中高）
一生に一度見つけ得た人　恐れずに抱きしめられる人　誰にもわたしたくない　やさしくて　かわいい　そんな誰かさん…あのォ　僕のお嫁チャンになって欲しいんだけどな……

中川　嘉一（法2　同志社香里高）
グリーは，何か持っている。それでグリーは，動いている。でも，僕には，まだそれがわからない。それを見つけた時，僕はどうなっているんだろう……。

石川　和雄（工1　西尾高）
グリークラブってどんなクラブなのかわからへん。やはり皆でうまくはもらすことなのかなあ。それにしちゃあ音もリズムも満足にとれないしなあ。何か，自分としてとっくめるものをつかみたい。

林　修（経1　総社高）
いちょうの葉も黄色くなり，野山の木々もあざやかに紅葉して，一人物思いにふける季節になり，そろそろ後期の試験が気になりだしてきました。

今藤　恵証（法1　彦根東高）
春は夕暮，夏は朝，秋は明方，冬は晩が，まことに美しき。

納田　潤（経1　函館ラサール）
宮城第一女子高をはじめとした高校女声合唱をこよなく愛する僕。そして，関学グリーの「雪明りの路」，神戸中央の「嫁ぐ娘に」FMCの「コンポジション」は，まだ耳に残っているのです。

住宅金融公庫認定／不燃／鉄骨造

セキスイハウス

安心して建てて頂けるセキスイハウスです

一度、伏見展示場へお越し下さい。

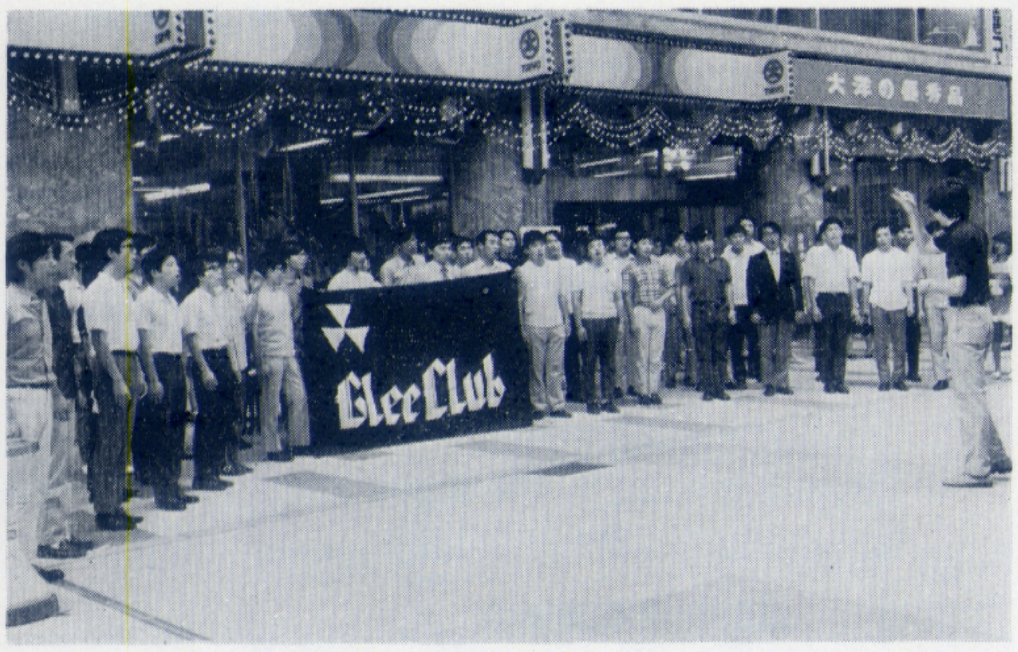
あなたの御来展をお待ち申しております。

積水ハウス伏見展示場

京都市伏見区深草西浦町4丁目85番12
TEL（075）641－8131～3

積水ハウス京都営業所
個人住宅課　浜田陽三

この一年



2月25日　**ビクターレコーディング**

日下部先生の指揮で多田武彦の「雪と花火」をレコーディングしました。吹込み料〇万円也。

2月27日　**送別演奏会**

いつの間にか，涙にくもってしまった先輩の顔。先輩の奇行は，いまだにグリーの語り草です。

3月20・21日　**卒業式参列**

いつもニヤケていたあの先輩にあんな真剣な顔があるなんて。讃美歌うまくハモラなくて申し訳ありませんでした。

3月26〜29日　**春季合宿**

和歌山県の日の岬はとっても景色のいいところでした。ここで僕達は今年のスタートを順調に切ったのです。

4月4・5日　**入学式参列**

「フレッシュマン諸君。おめでとう。」同じあいさつ文を六回もよく言えますねェ。先生方。

4月6〜8日　**オリエンテーション**

甘い甘い言葉で釣り上げた小魚も，今は立派な大魚に？

4月14日　**対面式**

説教調で歓迎の文を読むＯＬＤ．ビクビクしながら下を向く１回生。グリークラブ伝統の儀式，第一弾。

5月16日　**京都三大学交歓演奏会**

京女大のお姉さま方。立命メンネルのお兄さま方。その節は色々お世話になりました。おかげ様で色々うまくいっています。

5月30日　**京都合唱祭**

6月20日　**第５回同志社・関学交歓演奏会**

いつもながらの関学グリーの声に聞きほれました。でも同志社グリーも……。

6月26・27日　**第20回東西四大学合唱演奏会**

燃えて燃えて仕方のない演奏会。今年は東京文化会館大ホールで，宇宿先生の指揮で，聖チェチリア

Sizuya bakery KYOTO

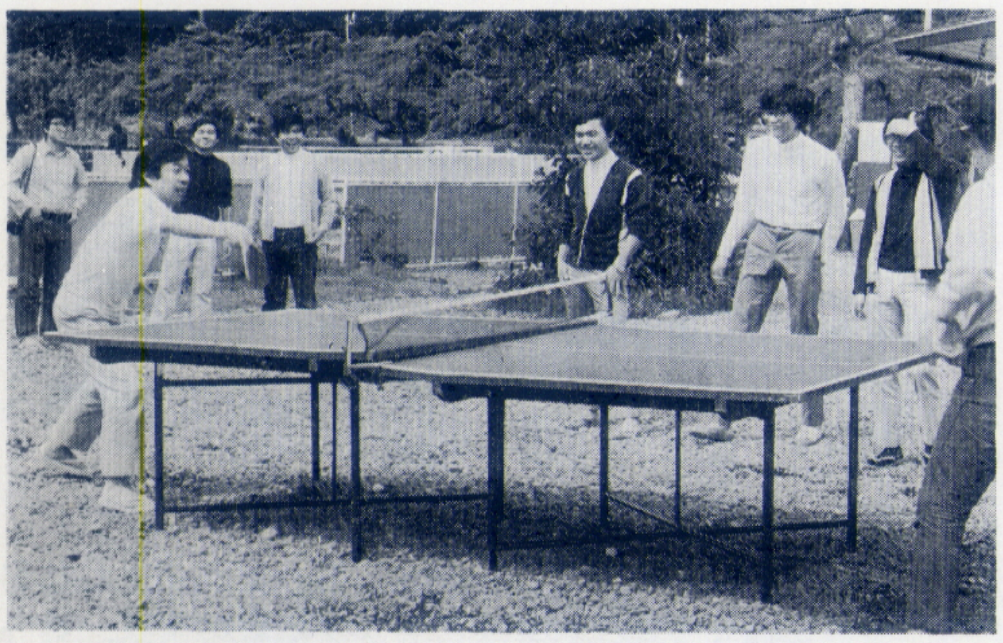
総理大臣賞受賞

世界の味をおくる

志津屋

本社(工場)・二条河原町東 ㉛3177
三条店・河原町三条上 ㉛0055
四条店・河原町四条上 ㉑0023
寺町店・寺町四条下ル ㉛6959
千本店・千本寺之内通 ㊶8038
フランセーズ志津屋四条大丸前 ㉑2785
堀川店・堀川通蛸薬師下 ㊀7544
京阪三条店・京阪三条内 ㊶1394
藤の森店・京阪藤の森駅前 ㊶9660
カスクート志津屋・河原町通り六角下一筋目東 ㉑4845
ぎおん店・祇園石段下 ㊶7011
レストラン志津屋・京都西京区新明町 ㉓9683

この一年



のミサをオーケストラ付きで歌い，東京の合唱ファンをビックリさせました。

8月7～12日　**九州演奏旅行**

大牟田，熊本，鹿児島と三カ所回って来ました。どの土地でも大歓迎をうけ，あらためて伝統の恐ろしさを知りました。

9月8～13日　**夏季合宿**

2年振りに信州野尻湖で行ないました。大久保先生の弾き語りはとっても素適でした。最後の夜の洗礼式で1回生は晴れてＯＬＤに。

12月2日　**第67回定期演奏会**

今日です。がんばってます。

12月11日　**広島メサイア演奏会**

広島女学院の招待で今年も行ってきます。楽しみだなあ。とっても待遇がいいんだもの。

12月24日　**第7回全同志社メサイア演奏会**

クリスマスイブにとっても素適な演奏会。ぜひ聞きに来て下さい。芸術の香りがしますよ。

来年の

2月16日　**送別演奏会**

今日元気に歌っている四回生を送り出します。貴女も彼等を送ってやって下さい。京都会館第二ホールです。

料理
鰻料
寿司
御

梅乃井
柳馬場姉小路上ル
電(221)五一九七

お知らせ

※ 同志社グリークラブ　創立67周年度卒業生のための

送　別　演　奏　会

1972年2月16日（水）6：30 P.M　　入場無料
京都会館　第二ホール
指揮　福永陽一郎，目　秀雄

※ 第7回　**全同志社メサイア大演奏会**

1971年12月24日（金）6：30 P.M　京都会館第一ホール

指揮　渡辺暁雄
合唱　同志社グリークラブ
　　同志社女子大音楽科有志
　　一般公募
管弦楽　同志社交響楽団

ソプラノ	斎藤昌子
アルト	秋葉京子
テノール	金谷良三
バス	木川田誠
オルガン	鴛渕紹子
チェンバロ	有賀のゆり

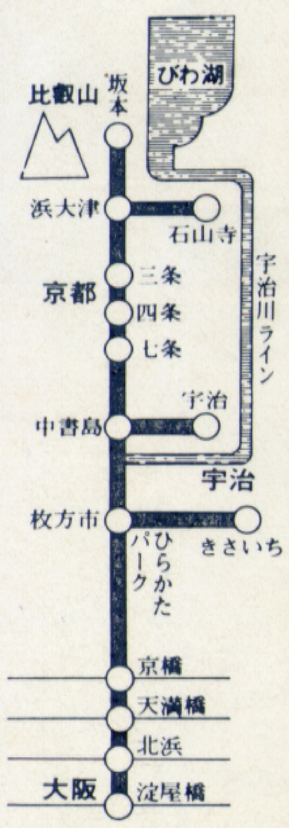
S席 800円　　A席 500円　　B席 300円

大阪・京都・宇治・びわ湖を結ぶ京阪電車

びわ湖・京都・宇治
大阪を結ぶ——

京阪電車

特急停車駅
大阪　淀屋橋（地下鉄御堂筋線と接続）
　　北浜（地下鉄堺筋線と接続）
　　天満橋（地下鉄谷町線と接続）
　　京橋（国鉄環状線と接続）
京都　七条・四条・三条



● 大阪淀屋橋～京都三条間　所要45分

“合唱のビクター”が築いた珠玉のコーラル・アルバム!!

＊合唱名曲選シリーズ

〈明治百年記念芸術祭賞受賞〉〈1968年レコードアカデミー賞受賞〉

合唱のためのコンポジション 第1番～第6番

混声合唱のためのコンポジション／混声合唱と打楽器のためのコンポジション／男声合唱のためのコンポジション／合唱とオーケストラのためのコンポジション／鳥獣戯画／男声合唱のためのコンポジション

岩城宏之指揮／東京混声合唱団

● SJX-1005～7 30cmステレオＬＰ3枚1組(解説40頁つき)￥5,400

混声合唱名曲選①

いろはうた

あかがり／いろはうた／痩人を嗤う歌二首／空・道・河／雲助唄／子どもと笛／千曲川の水上を恋ふる歌／北国の二つの歌

(指揮) 中村仁策・木下保・池田明良・田中信昭／東京混声合唱団／アルベルネ・ユーゲント・コール／神戸中央合唱団

● SJX-1009 30cmステレオＬＰ ￥1,800

男声合唱名曲選①

月光とピエロ

月光とピエロ／智恵子抄巻末の歌六首／枯木と太陽の歌／蛇祭り行進

(指揮)畑中良輔・水谷昌平・福永陽一郎／東海メールクワィアー／関西学院グリークラブ／同志社グリークラブ／慶応義塾ワグネルソサイエティ男声合唱団／早稲田大学グリークラブ

● SJX-1008 30cmステレオＬＰ ￥1,800

山に祈る／月光とピエロ

合唱組曲 山に祈る

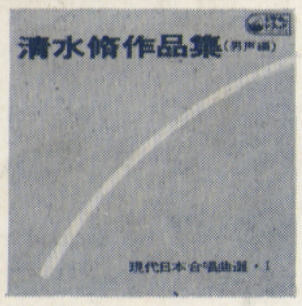
組曲 月光とピエロ

同志社グリークラブ/東京混声合唱団男声/二期会合唱団男声／(語り手)河内桃子/ビクター・フィルハーモニー・オーケストラ/(コンサート・マスター)田中千香士/(指揮)若杉　弘・清水　脩

● SJX-1010 30cmステレオＬＰ ￥1,800

＊現代日本合唱曲選

豪華見開きジャケット30cmステレオＬＰ各巻￥1,800



現代日本合唱曲選①

清水脩作品集(男声編)

黙示／阿波祈禱文／白い火の姿「大手拓次の三つの詩」から／組曲「アイヌのウポポ」

東海メールクワィアー／東京混声合唱団・二期会(男声)／関西学院グリークラブ(指揮)水谷昌平・清水脩・北村協一

● SJX-1013 30cmステレオＬＰ ￥1,800

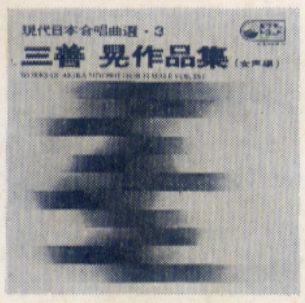
現代日本合唱曲選②

大中　恩作品集(混声編)

組曲「わたしの動物園」／組曲「日曜学校のころ」／組曲「遙かなものを」

大中　恩指揮／三浦洋一伴奏／コール Meg

● SJX-1014 30cmステレオＬＰ ￥1,800



現代日本合唱曲選③

三善　晃作品集(女声編)

組曲「三つの抒情」／麦藁帽子／林の中／組曲「月夜三唱」／小鳥の旅

田中信昭指揮／田中瑶子伴奏／東京混声合唱団（女声）

● SJX-1015 30cmステレオＬＰ ￥1,800

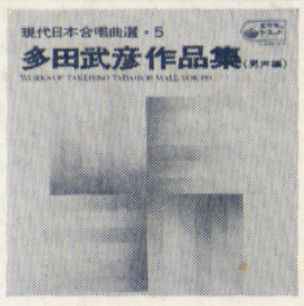
現代日本合唱曲選④

佐藤真作品集(混声編)

組曲「蔵王」／ 組曲「旅」

田中信昭指揮／本荘玲子・三浦洋一 伴奏／東京混声合唱団

● SJX-1016 30cmステレオＬＰ ￥1,800



現代日本合唱曲選⑤

多田武彦作品集(男声編)

組曲「柳河風俗詩」／組曲「雨」／組曲「雪明りの路」／ふり売り(「中勘助の詩から」より)／年の別れ(「人間の歌」より)

(指揮)北村協一・畑中良輔／関西学院グリークラブ／慶応ワグネルソサイエティ男声合唱団

● SJX-1017 30cmステレオＬＰ ￥1,800

現代日本合唱曲選⑥

間宮芳生作品集(混声編)

混声合唱のための五つのピエタ

北国の二つの歌

田中信昭指揮／東京混声合唱団

● SJX-1018 30cmステレオＬＰ ￥1,800

現代日本合唱曲選⑦

三善　晃作品集

混声合唱曲「小さな目」

混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」

田中信昭指揮／東京混声合唱団

● SJX-1019 30cmステレオＬＰ ￥1,800

現代日本合唱曲選⑧

優しき歌　第二

優しき歌第二（柴田南雄）
風の馬（武満徹）
ＪＡＰＡＮ（林　光）
相　聞（池辺晋一郎）

田中信昭指揮／東京混声合唱団

● SJX-1020 30cmステレオＬＰ ￥1,800

■日本の合唱〈上巻〉 30cmステレオＬＰ３枚組￥4,500

● SJV-1058～60

花／婆やのお家／あかがり―神楽歌早歌―／いろはうた―越天楽の旋律によって―／痩人を嗤う歌二首／水夫の歌／蛇祭り行進／川／空・道・河/東北地方のわらべ唄による

日本女子大学合唱団／東京リーダーターフェル・フェライン／慶応ワグネル・ソサイエティ男声合唱団／早稲田大学グリークラブ／アルベルネ・ユーゲント・コール／東京混声合唱団

(指揮)木下保・荒木宏明・森　正・福永陽一郎・池田明良・田中信昭

月光とピエロ／智恵子抄巻未のうた六首／水のいのち

東海メール・クワイアー／東京混声合唱団

(指揮)畑中良輔・水谷昌平・若杉　弘

雲助唄／女の祈り　―女声合唱・ピアノとエレクトーンのための―／子どもと笛／枯木と太陽の歌

東京混声合唱団／神戸中央合唱団／関西学院グリークラブ／同志社グリークラブ

(指揮)田中信昭・若杉　弘・中村仁策・福永陽一郎

■日本の合唱〈下巻〉 30cmステレオＬＰ３枚組￥4,500

● SJV-1061～63

アダムとイヴ／岬の墓／わたしの動物園／北国の二つの歌

日本女声合唱団／東京混声合唱団／コール Meg

(指揮)三宅洋一郎・森　正・田中信昭・大中　恩

千曲川の水上を恋ふる歌／たたら（踏鞴）合唱による風土記／柳河風俗詩／四季一津軽の音楽材による混声合唱

神戸中央合唱団／東京リーダーターフェル・フェライン／関西学院グリークラブ／二期会合唱団

(指揮)中村仁策・北村協一・荒木宏明・森 正

小さな目より「おうちの人」／「べんとう」「えんそく」―子どものための合唱組曲―／旅／嫁ぐ娘に―合唱組曲―

東京混声合唱団／（指揮）田中信昭

ビクター VICTOR レコード